

2023年度事業報告書

社会福祉法人 寿 恵 会

永年に渡り社会のために尽くされてきた高齢者の皆様が、津高寮において楽しく健やかに人生を過ごされることを目的として、法人理念に基づいて介護サービスのより一層の向上に努めてまいりました。

そして 2023 年度は以下の点を基本方針として掲げ、事業推進に努め、一定の成果を得るに至りましたのでご報告いたします。

〔I〕概要

(1) 経営基盤の強化並びに安定経営の確立に取り組む

① 経費節減の強化

従来よりも経費削減をさらに強化して経営を安定させるとともに、ご利用者様の快適な寮生活の維持に取り組むとともに、光熱費等を前年度より削減するように全職員に啓発して実現に取り組みました。

② 在庫管理の徹底

適正な在庫管理を行なうことで経費面での効率化を推進し、そのために各部門が管理すべき物品を明確にし、在庫管理を行い経費の節減及び業務の効率化へと結びつけていきました。

③ 事業所毎の稼働率の確保

安定的な経営を確立するため、質の高い介護サービスを提供することにより予算稼働率を達成することを目指して各部門は年間稼働率目標達成に向けて取り組みを行いました。

④ 目標の共有について

事業計画及び予算について、全職員への配布を行い周知徹底に努めました。

⑤ 海外人材の活用等について

介護専門学校へと留学に来ている外国籍の学生への学費の支援を行い非常勤職員として採用、後に正職員としての採用を予定している。また、技能実習生制度についても活用をして 2 名の受け入れを 2023 年の夏より開始しました。

⑥ 通所介護事業所のリニューアル

通所介護事業所をパワーリハビリを主目的の一つとした事業所として、2023 年 4 月の 1 か月間を閉鎖してリニューアルを行い、5 月よりオープンいたしました。

⑦ BPC の作成

災害時や感染流行時においても経営を継続していき介護サービスを安定して提供することを目指した BPC を作成いたしました。

(2) 組織運営

① サービス内容の向上及び業務効率の向上

事務管理部、特養介護部、医務部、ショートステイ部、デイサービス部、調理部、居宅介護支援事業所が各々の立場からご利用者様等に対する現在のサービス内容並びに業務内容等を常に見直し、今よりも質の高いサービス提供を行えるようにと取り組みました。

また、サービスの向上及び職員の負担軽減のため、介護記録システムのほのぼの NEXT

の活用に取組みました。

② 環境整備の取組み

ご利用者様の津高寮での生活の快適性を確保するため、施設全体の環境整備に取り組ましました。また、建物、設備、什器備品等の速やかな補修について取組みました。

③ 危機管理の取組み

施設内外の危険個所の把握点検改善等の防災対策を徹底し、また、施設の防災設備が円滑に機能する様に点検整備を常に励行し、災害等の被害が拡大しないように努めました。火災、地震等の災害が発生した場合、ご利用者様の安全確保に迅速に対応できる様、年2回（日中及び夜間想定）の防災訓練（うち1回は地震想定を含む）を実施しました。

④ 会議委員会及び研修についての取組み

連絡会議、特養会議、身体拘束廃止委員会（施設内研修、年2回）、事故防止委員会（施設内研修、年2回）、褥瘡予防委員会（施設内研修、年1回）、給食委員会、感染予防委員会（施設内研修、年2回）、入所判定委員会、夏祭り委員会、資質向上委員会を実施いたしました。また、医療安全対策研修（施設内、年1回）、虐待防止研修（施設内、年1回）各部門内（特養職員、デイサービス職員、ショート職員）会議での情報の迅速な共有を行いました。

⑤ ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携

ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携を強化するため、施設運営面、サービス内容等に関する意見、苦情等を収集するとともに、満足度調査を行い、業務改善・見直しに役立てる活動を行いました。

（3）職員資質の向上と人材の育成

- ・社会福祉協議会、ハローワーク等主催の就職セミナーへの参加、ハローワークと良好な関係を築き良質な人材の確保にあたる。
- ・法人理念・経営理念・経営方針の周知へ向けた取り組みを引き続き実施し、共通理解を徹底しました。
- ・各専門職資格取得奨励と施設内勉強会・研修を継続的に実施しました。
- ・外部研修については、新型コロナ流行により受講を控えています。
- ・サービスやマナーを向上し、介護の質を高めるように努めました。

（4）地域福祉貢献活動の強化

社会福祉法人にあっては地域福祉に貢献することが強く求められており、例年は地域に信頼される津高寮とすべく夏祭りを行っていましたが、感染症の流行により中止といたしました。

〔Ⅱ〕施設の運営状況

1. 資格取得状況

2023 年度資格取得者	介護福祉士	1 名	介護支援専門員	0 名	
2023 年度末現在での資格取得者					
社会福祉士	0 名	介護支援専門員	1 名	社会福祉主事	6 名
理学療法士	1 名	管理栄養士	1 名	介護福祉士	33 名
正看護師	5 名	准看護師	4 名	衛生管理者	0 名
栄養士	0 名	調理師	0 名	介護実務者研修 (訪問介護 1 級)	2 名
介護初任者研修 (訪問介護 2 級)	1 名				

2. 各種会議・委員会開催状況

会議・委員会名	開催日	出席者
連絡会議	毎月 10 日	施設長・各部門長
特養会議	毎月第 3 火曜日	施設長・介護・看護・調理
ショート会議	不定期 毎月 1 回	施設長・ショート職員
デイサービス会議	毎月第 3 水曜日	施設長・デイサービス職員
衛生管理委員会	毎月 10 日	施設長・看護・
身体拘束廃止委員会	毎月第 2 金曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・
事故防止委員会	毎月第 3 火曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・調理
褥瘡予防委員会	毎月第 3 金曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護・調理
感染症対策委員会	4 月・7 月・10～3 月の 第 2 火曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理
入所判定委員会	奇数月第 3 火曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護
給食委員会	偶数月第 1 金曜日	施設長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理
夏祭り委員会	夏祭り中止のため未開催	施設長・各部門から担当職員

3. 各施設の利用状況等

◇特別養護老人ホーム

(1) 利用状況

利用者の要介護状態は、平均要介護度が 3.5 と昨年度の平均介護度 3.7 と比べて多少下がっている。また、特別養護老人ホームの年間平均利用率は前年度 91.0%に対し、本年度は 83.9%と 5.1%減少した。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	年間平均利用率
利用者数	0名	0名	24.7名	30.1名	12.5名	67.3名	83.9%
構成比	0.0%	0%	36.8%	44.6%	18.6%	100%	

(2) 年齢構成

利用者の年齢構成は90歳以上の利用者の比率は39.2%となっており、前年度よりも大幅に上がっております。また、100歳以上の利用者は1名となります。

	～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計	内、100才以上
利用者数	1名	11名	30名	28名	70名	3名
構成比	1.4%	15.7%	42.8%	40.0%	100%	4.3%

(年度末時点)

(3) 入退所状況

退所者30名の内、23名の方が死亡退所、7名が長期入院による退所となっております。退所後の空所を出来るだけでなくすため、入所判定委員会を2か月に1度行い、担当職員が待機者及び次期入所予定者を把握し、空所時には入所日程の調整をスムーズに行えるよう取り組んで参りました。昨年と比べ退所者数は大幅に増えています。

	入所者数	退所者数	退所理由別人数		
			死亡	入院	その他
2022年度	22名	22名	21名	1名	0名
2023年度	26名	30名	23名	7名	0名

◇短期入所生活介護

短期入所生活介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数4525名、1日平均利用者数12.4名、年間平均利用率62.0%に対し、本年度は延べ利用者数4682名、1日平均利用者数12.7名、平均利用率64.1%と若干の増加となりました。

	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	年間平均利用率
2022年度	4,525名	12.4名	62.0%
2023年度	4,682名	12.7名	64.1%

◇通所介護事業

通所介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数3279名、1日平均利用者数12.8名、年間平均利用率51.0%に対し、本年度は延べ利用者数3255名、1日平均利用者数11.5名、平均利用率46.0%と減少となった。(2023年4月はリニューアルのため閉鎖)

	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	年間平均利用率
2022年度	3,279名	12.8名	51.0%
2023年度	3,255名	11.5名	46.0%

◇居宅介護支援事業

閉鎖中

4. 年間行事実施状況

行事は利用者の重度化を考慮しながら四季の行事を行い、各種サークルにおいては毎月お花、喫茶、書道など定期的に行い、利用者間の連帯感や意欲の助長に努めました。また外出を伴う行事については基本的に中止となりました。一部の外出行事については、他人と接触しない形で実施をいたしました。

	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	通所介護事業
4月	お花見	お花見	お花見
5月	母の日・菖蒲湯	母の日	菖蒲湯
6月	父の日	運動会	
7月	七夕	七夕	
8月			
9月	彼岸法要・敬老祝賀会	敬老祝賀会	敬老祝賀会
10月			運動会
11月	文化祭	文化祭	作品展
12月	クリスマス会・ゆず湯	クリスマス会	クリスマス会・忘年会
1月	初詣・とんど焼き・初釜	新年会	新年会
2月	節分祭	節分祭	
3月	雛祭り・彼岸法要	雛祭り	

5. 健康管理状況

健康管理については、定期健康診断として、胸部レントゲン撮影・インフルエンザの予防接種を実施しました。胸部レントゲン撮影は60名の方に実施し、内4名の方に精密検査を実施しましたが異常ありませんでした。インフルエンザの予防接種につきましては、主治医、家族と相談した結果、69名の利用者が予防接種を受けましたが、本年度は施設内での大きな流行もなく過ごせました。また、新型コロナウイルスの予防接種についても、接種できるタイミングで速やかに実施することにより、利用者に対して実施いたしました。

	実施状況（受診者数）		レントゲンの結果	
	胸部レントゲン	インフルエンザ予防	異常なし	要精密検査
2022 年度	60名	65名	56名	4名
2023 年度	53名	69名	49名	4名

◇利用者の通院、入院状況

定期健診とは別に、主治医、医療機関との連携のもと、病気の早期発見・早期治療に努め通院者が延べ135名、入院者数が延べ37名となりました。

	通院	入院
2022 年度	135名	37名
2023 年度	211名	97名

6. 事故発生防止への取組

施設内での事故防止に努める為、月1回の事故防止委員会の開催と年2回の研修、さらに必要に応じて少人数での実践的な研修を実施しましたが、入院・通院を伴う事故の件数は微増となりました。再発防止に向けそれぞれの事例についてしっかり検討を行って、今後もより一層の事故発生の防止に努めてまいります。

7. 身体拘束廃止への取組

身体拘束廃止につきましては、月1回の回身体拘束廃止検討委員会の開催と年2回の研修を実施し、各専門職の意見を交えながら経過観察記録に基づき再検討を行い、身体拘束廃止に取り組んで参りました。また、突発的に必要な事例が発生したときも、臨時で委員会を開催し、出来る限りの身体拘束解除に向けての取り組みを行い、身体拘束ゼロへ向けて施設全体で取り組んで参りました。

8. 感染症対策実施状況

感染症対策につきましては、4月7月および10月から3月までの各月1回の感染症対策委員会の開催と年2回の研修を実施しました。また、利用者、ご家族及び関係職員等に対して手洗い、マスクの着用、排泄介助時等には個別に使い捨て手袋を使用する等の徹底に努めた結果、インフルエンザの発生なく運営することが出来ました。

また、新型コロナウイルスの流行に伴い従来よりも衛生管理に努めるように啓発を行っており、職員及びご利用者様に散発的に感染が発生したもののクラスターになることなく収束しています。

9. 褥瘡予防への取組

褥瘡予防につきましては、各担当者が褥瘡予防プランを作成・実行し、月1回の褥瘡予防委員会で改善状況について検討し、状況に応じてプランの見直しを行ってまいります。また、エアーマットやクッションを褥瘡対策として使用しております。エアーマットの追加購入等を通じて、引き続き褥瘡予防に取り組んでまいります。

	褥瘡の人数	治癒した人数
2022年度	46名	11名
2023年度	26名	19名

10. 機能訓練の取組状況

個別の機能訓練につきましては、機能訓練指導員を中心に、個別機能訓練計画書をもとに、日常生活の中で出来る生活リハビリを中心に、日中はできるだけ起床・離床し、廃用症候群の予防に努めました。

11. 食事、栄養管理

食事・栄養につきましては、衛生管理（記録・確認）に努め、食事が日常の喜びになっていることを十分考慮し、季節感、郷土色を取り入れた家庭的な食事の提供を行なってきました。また、各利用者の栄養状態・健康状態・摂取能力・嗜好等を把握し、食事に対する楽しみを更に増やすため、給食委員会を隔月で開催しました。来年度も引き続き委託業者と協力してソフト面、ハード面で随時見直しを行い、充実した食事の提供を行って参ります。

12. ご家族との連携

利用者の状態の変化があったときなどは速やかにご家族へと連絡をとるなど、日ごろから連携を密にするように努めました。

〔Ⅲ〕施設の運営管理状況

1. 職員状況（正職のみ）

（1）職員数

職員数合計は、前年度41名に対し、39名となっています。また、男女別職員数では、男性職員15名に対して、女性職員は24名となっています。

（2）平均年齢

平均年齢は、男性職員が42.7歳、女性職員が48.7歳であり、職員全体の平均年齢は46.4歳となっている。

（3）平均勤務年数

平均勤務年数は、男性職員が9.1年、女性職員が9.2年、職員全体で9.1年となっている。

（4）退職者数

退職者数は、男性職員1名、女性職員5名、合計6名となっている。そのうち、介護職員の退職者数は3名となっている。

	性別	職員数	平均年齢	平均勤務年数	退職者数
2022年度	男	17名	42.9歳	9.0年	0名
	女	24名	49.7歳	9.5年	4名
	計	41名	46.9歳	9.3年	4名
2023年度	男	15名	42.7歳	9.1年	1名
	女	24名	48.7歳	9.2年	5名
	計	39名	46.4歳	9.1年	6名

2 .

研修実施状況

職員研修については、年初に予定していた施設内研修を計画通りに行いました。また、助成金を活用した実務者研修の受講を、介護福祉士未取得の職員を対象として促進していきました。

3. 防災訓練の実施状況

本年度、防災面については、年2回の防火訓練（うち1回は日中想定 of 総合訓練、うち1回は夜間及び地震想定 of 総合訓練）を実施しました。今後も訓練の内容充実と経験を深めることで、万が一の場合に備えていきたいと思ひます。

4. 苦情、相談受付状況

苦情・相談につきましては、苦情を利用者からの貴重な情報と捉え、素早く対応することにより潜在的な苦情を回避し、サービスの質的向上に繋げていくように取組みました

5. ボランティアの受入れ状況

本年度は感染症の影響のため、ボランティアの受け入れについては全面的に中止といたしました。新型コロナウイルスの治療薬の普及状況などを見て、再び受入を行けるように模索していきまします。

〔IV〕 地域・ご家族との交流

本年度は感染症の影響のため、夏祭りを中止といたしました。また、ご家族の面会については、面会用のブースを設置してご利用者様と直接接ふをしない方法にて実施をいたしました。今後は、新型コロナウイルスの治療薬の普及状況などを見て面会形態を模索していきまします。

以上